

★ 夜間学校 釜ヶ崎 (復称) 54回

10月22日 今夜の時間、「日雇いの家」について 「やせし」経済の話 日雇いの経済をみんまぐで考えよう。

■ 日ましに寒さが増してきましたが、仕事をするにはいい長候です。これに もっと仕事が増えなくれば……

■ 今夜の夜間学校は、「やさしい経済の話」と題し、むづかし「経済学を俺たちにも分るようによさしく、大学で教えている先生に來てもらって、話を聞き、質問をし、皆で考えたいと思います。

■ 経済学といっても、基礎のところ

(復称)釜ヶ崎夜間学校とは……

我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇いの者として生活していく中で、誰でもがいつかは必ずぶつかると、一人の問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の問題を皆の力で解決していく

を中心に考え、労働、特に我々の日雇労働がどのような意味をもち、社会的にどのような価値を生み出していくのか、また釜ヶ崎と他の地域との違いは経済の上でどのような意味があるのかを、釜の歴史を振り返りながら考えてみたいと思います。

■ 現在の経済学は、大きく二つの流れがあります。一つは今の生産高をもつと上げればどうすればいいかを考

為に、先生と生徒の関係をなく、皆が生徒で先生でもあると言う対等な関係の中で、互いに知識と経験を通して学び考え合う自由な場です。

是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。



え、もう一つは今も食し労働者の況がどうすればよくなるか、本当の意味で自由な労働が出来るにはどんな社会になればいいのかを考えている流れです。今夜来てくれる先生は、我々の労働者の立場に立って話をされるので、参加者も意見をぶつけながら話をすすめたいと思います。いざいざしても、釜ヶ崎や日雇労働のことをよく知っていらのは我々の方なのだから。

■ やさしい話なので、長軽に多くの人が参加して下さい。

※今回の夜間学校は「リクレーション」です。卓球をしたり、歌をうたったりで楽しく過ごしたいと思います。

(仮称)釜ヶ崎夜間学校ニユース

才53 回報告テーマ「何でも話そう-運営委員会」

団結

いかに実行するか
それが問題や

身近な話題

身近な話題
運営委員会として、先回の夜間学校を行い二四名を集まりました。まずは自己紹介から。思いのやり方で。その中でひとはりきつて勉強してきた仲間がいました。その前の夜間学校の際に、「あおりん人生追跡調査誌」という大藪論文で「労働者のねうちが評価されていない」という声を受けてこれだけの仕事をしていたと。約一万八千人の日雇労働者が月平均一五日働いたとして年間の総かせぎはざっと二百八十億円となる。これだけの日雇の労働者を評価しない誤にはいかんはずだ。しかし他の仲間からは「一人平均にしても、これにあてはまらん仲間がようけいる。それを何とかする

ことが問題や」との声が出されました。「それやから団結が大切だ」とのいつもの声も当然出ました。

生き生きとした

夏祭りの姿

それから八月の夏祭りの記録をビデオで見ました。スイカ割、のど自慢、寸劇、盆おどりなど祭りに参加する仲間の姿が生き生きと映し出されました。スイカ割では自分がスイカを割まよように、のど自慢では美声のいきいきほれたりしました。寸劇では、悪質手配師や暴力飯場を打倒しあやまらせるところでは拍手かっさいでした。このビデオは、労働者の立場から撮影したものですから、普通の記録映画と一味ちがいます。「是非このビデオを記念に残しておいて欲しい」と讚美の声がありました。これからは労働者の本当の姿を正

しく伝えていく手段としてビデオなどの技術も使っていくことも大切でしょう。

ウサは、らし
たけで、はいかん

しかし夏祭りも「楽しくてウサはらしたけになつてはいかん」「甘えてるんちやうか」と、厳しい声と「ぞつと連帯観ができてようせないかん」とも。連帯は与えられさのてなく自分達で築くものです。みんながつくる。みんなのひろば

(仮称)釜ヶ崎夜間学校

運営委員会準備会

西成区萩の茶屋二ノハ一八

喜望の家内

電話(06)6447-3946
毎週木曜日夜七時から九時まで

